

平成24年度

ICT 利用による教育改善研究発表会

開催要項

この発表会は、全国の国公立大学・短期大学教職員を対象に、教育改善のためのICT利用によるFD（ファカルティ・ディベロップメント）活動の振興普及を促進・奨励し、その成果の公表を通じて大学教育の質的向上をはかることを目的として、平成5年より実施しています。最も優れた発表に対しては文部科学大臣賞を、またこれに次いで優れた発表に対しては協会賞を授与し、その教育業績を顕彰します。

大学・短期大学では、教育方法の改善、教員の意識改革、教育業績の評価など、個々の教員はもとより組織としてのFDへの取り組みが課題となっています。この発表会は、今後の教育活動に示唆を与えるものですので、大学教職員の皆様におかれましては発表会の重要性をお考えいただき、ぜひご参加ください。

日時：平成24年8月10日（金）10：00～16：10

場所：東京理科大学（九段校舎） ※詳細は、当日の会場案内板や掲示にて確認下さい。

東京都千代田区九段北 1-14-6 TEL：03-3260-4271(代) (地図は別ページに掲載)

東京メトロ東西線、都営新宿線「九段下」駅下車 徒歩1分

主催：公益社団法人 私立大学情報教育協会

後援：文部科学省

【本発表会のねらい】

教員個人や大学・学部等組織レベルでのICTを利用した教育改善の取り組みと効果を公表することで、教育方法の改善、教員の意識改革、教育業績の評価など、大学・短期大学の課題の解決策を提案し、教育の質的向上を図る。

参加対象 国公立大学・短期大学の教職員、賛助会員

参加費 加盟大学・短期大学、賛助会員：7,500円（税込）

非加盟大学・短期大学：15,000円（税込）

*発表者の参加費は不要です。詳細は、発表要項 <http://www.juce.jp/LINK/houhou/12houhou/12junbi.htm> をご覧下さい。

*当協会加盟校は右サイトで確認ください <http://www.juce.jp/LINK/kaiin/univ4.htm>

参加者には、加盟校に限定して当日の発表スライド（許可が得られたもの）を後日閲覧できるようにします。

申込方法 **Webからの申込み**

下記Webの「参加申込み」ボタンを押し、画面表示に従って入力、送信下さい。

<http://www.juce.jp/LINK/houhou/12houhou/>

FAXでの申込み

別紙の申込用紙に記入の上、送付下さい。 **FAX: 03-3261-5473**

※申込内容で当協会が取得する個人情報は、下記の目的により利用します。

「大学名、氏名、所属（学部、部署）」は、当日配布する資料（冊子）に参加者名簿として掲載します。「電子メールアドレス」は、今後の事業案内の連絡先情報として利用します。

申込締切 8月4日（土） 締切日以降の申込や当日申込も受け付けておりますが、締切日までに申込まれた方の大学名、氏名を当日配布の予稿集の参加者名簿に掲載します。

参加費振込 できるだけ8月6日（月）まで振込み下さい。

一括申込みの場合：振込依頼人名には、大学名の他にキャンパス名または部署名を入れて下さい。

個人申込みの場合：参加費の振り込み依頼人名には、大学名と氏名の両方を必ず入れて下さい。

シジョウキョウ

振込先 りそな銀行市ヶ谷支店 普通預金 0054409 名義人 私情協

〒102-0073 千代田区九段北 4-1-14 九段北 TL ビル 4 F TEL:03-3261-2798

*振込手数料は申込者各自で負担願います。

*8月8日（水）までのキャンセルは、参加費から振込手数料を差し引いた金額を返金します。それ以降のキャンセルについては、資料代（送料含む）、振込手数料を請求させていただき、後日資料を郵送いたします。あらかじめご了承下さい。

送付・問い合わせ先 公益社団法人 私立大学情報教育協会 事務局

〒102-0073 千代田区九段北 4-1-14 九段北 TL ビル 4 F

TEL：03-3261-2798／FAX：03-3261-5473 E-mail:info@juce.jp（問い合わせ用）

平成24年度 ICT利用による教育改善研究発表会 発表一覧(53件)

* 4会場に分かれて行います。各会場は当日の表示等で確認下さい。

(研究発表者名は発表代表者のみ掲載。敬称略)

分野	時間	発表番号	分野	発表題目	研究発表者	大学名
A 情報基礎・情報専門・芸術系	10:00	A-1	情報基礎	新時代の問題発見・問題解決のための情報技術関連基礎教育	植原 啓介	慶應義塾大学
	10:20	A-2	情報基礎	ペア・プログラミングを用いた演習課題の自己プロセス改善管理	山口 大輔	桐蔭横浜大学
	10:40	A-3	芸術	フレームという要素から築く映像制作力	小田 茂一	愛知淑徳大学
	11:00			休憩		
	11:10	A-4	情報専門	プログラムの実行・評価機構を持つWeb教科書によるソフトウェア開発技能育成	松浦 佐江子	芝浦工業大学
	11:30	A-5	情報専門	大学講義におけるコラボレーションサイトを活用した共同学習と双方向授業	飯沼 瑞穂	東京工科大学
	11:50	A-6	情報基礎	Webプログラミング習得を目的としたUNIX教育について	幸谷 智紀	静岡理工科大学
	12:10			休憩		
	13:10	A-7	工学	クラウド型仮想デスクトップ環境による学生家庭学習意欲の向上	高橋 友一	名城大学
	13:30	A-8	工学	実践的情報システム開発能力およびグループワーキング力の育成	小玉 成人	八戸工業大学
	13:50	A-9		発表辞退		
	14:10			休憩		
	14:20	A-10	情報専門	インタラクティブな講義方法によるICT教育の改善研究	石野 正彦	福井工業大学
	14:40	A-11	情報基礎	プロセス可視型ポートフォリオ作成のためのカリキュラムについて	大隣 昭作	西日本短期大学
15:00	A-12	情報基礎	ソーシャルラーニングにもとづく情報リテラシー教育の新展開	天野 憲樹	岡山大学	
15:20			休憩			
15:30	A-13	情報基礎	ICTを活用して合格率100%を目指した資格講座の取り組み	日置 慎治	帝塚山大学	
15:50	A-14	情報基礎	文系学生のための情報処理教育	保本 正芳	近畿大学	
B 人文科学系・語学・幼児・家政系	10:00	B-1	人文	学生代表アバターを使用した大人数授業の活性化の試み	柳沢 昌義	東洋英和女学院大学
	10:20	B-2	人文	タブレット端末全員配布による人文系高等教育の改善実施例	池田 佳和	大谷大学
	10:40	B-3	人文	ファイル共有サービスを活用した授業内容の公開	小笠原 宏	流通科学大学
	11:00			休憩		
	11:10	B-4	幼児	モバイルラーニングによるピアノ実技の振り返り学習	田中 功一	国際学院埼玉短期大学
	11:30	B-5	幼児	保育でのメディア活用イメージを豊かにするカリキュラムと協調アノテーション機能の開発	堀田 博史	園田学園女子大学
	11:50	B-6	家政	栄養士養成課程における卒業教育を視野に入れたeラーニングの教育効果	樋口 行人	九州共立大学
	12:10			休憩		
	13:10	B-7	語学	ICTを活用した自学自習型教育による英語教育と個別コーチング	柏原 郁子	大阪電気通信大学
	13:30	B-8	語学	スカイプを用いた海外大学生とのコミュニケーションによる科学技術英語教育	小早川 悟	日本大学理工学部
	13:50	B-9	語学	Web教材による英語運用能力の基盤スキルの習得	湯舟 英一	東洋大学
	14:10			休憩		
	14:20	B-10	語学	日本語教育におけるICT利用	尾本 康裕	城西国際大学
14:40	B-11	語学	スマートフォンを活用した英語発音学習支援	石原 健	目白大学	
15:00	B-12	語学	日本語でのICT運用能力の向上を目指す留学生向けのICT授業の提案	白鳥 成彦	嘉悦大学	
15:20	B-13	語学	教育支援システムでの小テストの活用による英語力の向上	西口 純代	東京理科大学	
C 医療系・工学系・社会科学系	10:00	C-1	医療	Web上でのCMS(Contents Management System)を利用した講義・演習形態の実践とその効果	大松 将彦	帝京大学
	10:20	C-2	医療	「一步一步学ぶ生命科学(人体)基礎編」による複数の医療系高等教育機関における入学前教育	渋谷 まさと	女子栄養大学短期大学部
	10:40	C-3	医療	知識技能のアウトプットに着目した薬物療法判断能力育成プログラムの開発と実践	大津 史子	名城大学
	11:00			休憩		
	11:10	C-4	医療	プロフェッショナルリズム教育におけるICTの活用	岩崎 拓也	近畿大学医学部
	11:30	C-5	社会	会計教育におけるモバイルラーニングを導入した知識構築型学習環境のデザイン	岩崎 千晶	関西大学
	11:50	C-6	社会	ブレンディッドラーニング『地域学』の取り組みについて	亀田 真澄	山口東京理科大学
	12:10			休憩		
	13:10	C-7	社会	ICTを活用したジェネリックスキル育成に向けてのゼミ教育改善の取り組み	浅井 宗海	大阪成蹊大学
	13:30	C-8	社会	情報共有を目標としたキャリア教育の実施	山崎 泉	金沢星稜大学
	13:50	C-9	社会	ICT利用による環境データの活用を通じた環境教育の取り組み	大野 司郎	近畿大学
	14:10			休憩		
	14:20	C-10	工学	地図アプリを用いた小大連携授業	笹谷 康之	立命館大学
14:40	C-11	工学	ICTを活用した小テストの開発と実践	泉 知論	立命館大学	
15:00	C-12	工学	測量シミュレータを用いた測量教育について	近津 博文	東京電機大学	
15:20	C-13	工学	構造力学の理解を深める補助教材の開発とその効果について	中山 晴幸	日本大学	
D 初年次教育・その他	10:00	D-1	初年次	PC能力向上のための基礎数学科目設置	武田 晋一	拓殖大学
	10:20	D-2	初年次	Moodleと数式解答評価システム(STACK)による動的な演習問題の作成と自己学習システムの構築例	根本 洋明	日本大学
	10:40	D-3	初年次	情報粗食力とその展開能力の伸長	田中 泉	摂南大学
	11:00			休憩		
	11:10	D-4	初年次	社会人育成を俯瞰する短大型入学前教育の構築	小棹 理子	湘北短期大学
	11:30	D-5	初年次	キャリア教育における限定利用のSNSの活用	松崎 陽子	長岡大学
	11:50	D-6	初年次	生涯教育文化学科キャリア教育におけるICT利用の効果-自己内対話と相互関与を相乗的に深める方法	西村 美東士	聖徳大学
	12:10			休憩		
	13:10	D-7	初年次	ICTを活用した初年次教育におけるスキル系授業の教育改善について	山下 泰生	関西国際大学
	13:30	D-8	その他	学際的チーム体制により開発した薬学6年制教育支援システムと主体的総合学習の効果	二瓶 裕之	北海道医療大学
	13:50	D-9	その他	総合的な人間教育支援システム(STAC)の構築	谷津 憲司	東北工業大学
	14:10			休憩		
	14:20	D-10	その他	放射線・放射能に関するワークショップおよび大学生の教育効果	増崎 武次	日本経済大学
	14:40	D-11	その他	ビジネスゲームを用いた経営情報教育の取組み	武市 祥司	金沢工業大学
15:00	D-12	その他	教科書の電子化による肢体不自由大学生の受講支援	奥 英久	神戸学院大学	
15:20			休憩			
15:30	D-13	その他	情報素養科目のフィードバック基盤教授学習モデル研究	金 永鍾	金沢工業大学	
15:50	D-14	その他	Moodleの機能を活かしたリメディアル教育の実践報告	松田 健	サイバー大学	

東京理科大学（九段校舎）マップ

東京都千代田区九段北1-14-6 TEL : 03-3260-4271(代)
東京メトロ東西線、都営新宿線「九段下」駅下車 徒歩1分

※1階正面玄関は夏季休暇で閉鎖される可能性がありますので、校舎横の階段または坂を上り、
2階玄関よりお入り下さい。

※キャンパス内には駐車場がありませんので、お車での来場はご遠慮願います。

※発表会場の詳細は、当日の会場案内板等で確認下さい。

地図は、下記Webページの九段校舎のGoogle mapからもご覧いただけます。

<http://www.sut.ac.jp/info/access/kagcamp.html>



(コピーして利用ください。 FAX : 03-3261-5473)

公益社団法人 私立大学情報教育協会
平成24年度 ICT利用による教育改善研究発表会
参加申込用紙

申込連絡者

大学名(企業名)

氏名

所属名

TEL:

FAX:

住所 〒

※電子メールアドレスは、今後開催される当協会のイベント等の案内に利用し、目的以外の利用もしくは第三者提供はいたしません。

大学名	氏名	所属 E-mail	主にご覧になられる発表グループに ○をつけて下さい
			A・B・C・D
		E-mail:	
			A・B・C・D
		E-mail:	
			A・B・C・D
		E-mail:	
			A・B・C・D
		E-mail:	
			A・B・C・D
		E-mail:	
			A・B・C・D
		E-mail:	
			A・B・C・D
		E-mail:	
			A・B・C・D
		E-mail:	

会員 7,500円(税込) × _____ 名 = 参加費合計 _____ 円

非会員 15,000円(税込) × _____ 名 = 参加費合計 _____ 円

〈領収書について〉 領収書が必要な場合は、該当項目に○をつけて下さい

宛名 : 個人名 / 大学名(社名)

複数名参加の場合: 参加人数分を1枚にまとめて / 参加者ごとに1枚ずつ

※領収書は原則として当日受付にてお渡します。